

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成30年7月3日
タイトル	みんなで学校農園に給食米を植えたよ！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成30年6月1日（金）福山市立東村小学校全児童44名と福山市立東村保育所児童13名が、学校給食食材納入グループ「若草会」の学校農園約20aのほ場で、給食で食べるお米の田植えをしました。

今年は東村小学校と東村保育所の子ども達が分かれてそれぞれ田植えをすることになりました。大きな田んぼに初めて保育所の子ども達だけでゆっくりと教えてもらいながら田植えをしました。

田んぼへ入り、1、2歩進んだところで早速しりもちをついてお尻が泥だらけになりましたが、一生懸命苗を植えているうちに気にならなくなり、ドンドン植えていました。小学生が来る前に田んぼからあがり、用水路で泥を落としました。足を洗っているところで転落防止の話をしました。先生も「今日は先生や地域の方が一緒だから川に入ってもいいけど、いつもは入っちゃだめですよ」声かけをしてくださいました。

子ども達に水路転落防止呼掛けのチラシと福山市上下水道局が提供して下さった災害備蓄飲料水「福山の水」を配布しました。



若草会の皆さんに教えてもらい上手に田植え！



農業用水路を身近に感じた子ども達！

つぎに東村小学校の子ども達が到着し楽しみにしていた田植えの始まりです。

まず、学校給食食材納入グループ「若草会」の杉原直道会長より挨拶があり「今年で7年目となりました。今まで毎年見てきたけど、田植え機で植えたところよりもみんなが手で植えたところの方が元気よく育ちます。きっと植える人の気持ちが伝わるからだと思います。今年も頑張って田植えをしましょう。」とお話されました。

子どもを代表して「みんなで楽しみにしていた田植えの日がやってきました。籾蒔きをして、小さな種から芽が出るところを観察し生命力を感じることができました。」と挨拶しました。



子ども達を代表して一人が蓑と笠を着用しました。

昔は蓑と笠を着て田植えをしていて、雨を凌いだり、天気の良い時は日差しが遮られ涼しいことなどを説明されました。

蓑と笠を着用したまま田植えをすることはできませんでした。残念！

いよいよ田植えです。横一列に並び、田んぼへ入ります。高学年の子ども達は慣れたもので、黙々と一番奥まで歩いていきます。低学年の子ども達は、「気持ち悪い」と歓声をあげながら一步一步進んでいきます。「気持ち悪い」と言いながら顔は笑顔で、土の感触を楽しんでいました。

若草会の方が「苗を3本ずつ持って植えるんよ。植え方はもう言いません。」と言われ、高学年の子ども達は真剣な表情で植えていました。手さばきも足さばきも慣れていて大人顔負けです。低学年の子ども達は、去年の田植えを思い出しながら、若草会の方に教えてもらおうとすぐ思い出して上達しました。



地域の方が立てた鯉のぼりが見守ります！



地域総出で田植えをしました！

田んぼの4分の1を手で植え、子ども達の田植えが終わると若草会の会員の^{かいの}廻野さんが田植え機で颯爽と田植えをして見せてくださいました。子ども達はみんな試乗したいのですが、代表して2人が試乗させてもらい大喜びでした。

田んぼから上がった子ども達は、泥だらけの手足を農業用水路で洗い流しました。用水路は子どもが一人入れるほどの幅ですが、土囊が流されそうになり水圧の強さを実感しました。



最新の田植え機を試乗体験！スピードにびっくりです！




小さな水路も要注意！


最後に、校長先生より「今日は無事田植えが終わりましたが、明日から若草会の皆さんは大変です。何が大変だと思いますか。」と聞かれ、子ども達から「水の管理」「害虫防除」などと声があがりました。難しい言葉を知っていてびっくりしました。「若草会の皆さんのおかげでごはんはもとより、多くの野菜を納入いただいて、子ども達の好き嫌いがなくなり、野菜が大好きになりました。若草会や地域の皆様方に感謝し毎日給食をいただいております。」と話され、最後は子ども達全員でとても大きな声を「ありがとうございました」と挨拶をして田植え体験は終了しました。

子ども達を見送ると、若草会の皆さんが用意してくださったおむすびが振舞われました。用意されたおむすびには、子ども達からメッセージが添えてあり、若草会や地域の方は、子ども達からのメッセージを読んで目を細めて喜んでおられ、大事にメッセージをポケットに入れて持って帰られました。

みなさまへ
 毎年 学校農園に、田植えをいよいよの楽しみです。
 「ちゃんと育ってくれるかな？」と不安もありますが、地いさ
 の方達が水の管理、害虫駆除など、田んぼの世話を
 してくださるので、いぬかりのときは、
 「こんなに大きく育ったの！」と、とてもお
 どろいします。今年のお米を、はやく、
 給食で食べたいです。
 今日はありがとうございます。 東村小学校 児童会




みなさまへ 私達は学校農園でとれたおい
 しいお米を、給食の時間においしくいただいで、皆元
 気にすこすこすることができています。これからも、一つ
 一つ大切に食生活を
 していきたいです。
 今日は、おいそがしい中来てい
 ただきありがとうございます。
 東村小学校 児童会




— 子ども達からのメッセージ —

みなさまへ 私達は、1年中広島県で一番おいしいお
 米を給食でいただいでいます。おかげでみんな病
 一つせずすくすくと成長しています。
 私達は、田植えをいよいよの楽しみでした。
 ぬかるみの中に足を入れぬけ
 ばくばりこかんでしまう人もたくさん
 いるけれど、お米のいぬを植え
 しょうかくし食べれることに感謝
 したいです。
 今日はありがとうございます。 東村小学校 児童会



みなさまへ 私達は学校農園でとれたお米を
 まいに食べるとおいしいです。そしておたたく
 が田んぼをしたあし、ひらうやまじや水の力
 なじいねのようすを見守ってくたさってありが
 とうござります。今年も
 たくさんお米がとれると
 しいです。ご協力をおね
 がいします。
 東村小学校 児童会



ここ東村町は、水土里ネット福山が平成3年から平成5年にかけてほ場整備事業を施行した地域で、地元農家を
 中心とした若草会と小学校・保育所が連携した給食米の取り組みは、地産地消の実践例として市内の基盤整備実施
 地区のモデルケースとなっています。

水土里ネット福山は、東村町の取り組みに協力し一年を通じて農業体験を取材し全国へ情報発信します。